



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年11月1日

上場会社名 ディーブイエックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3079 URL http://www.dvx.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 千葉 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 魚住 洋二 TEL 03-5985-6827
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	17,132	16.1	706	19.4	664	13.2	459	△34.6
28年3月期第2四半期	14,753	3.9	592	△17.3	586	△19.2	702	52.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	40.77	-
28年3月期第2四半期	62.33	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	15,695	6,194	39.5
28年3月期	15,026	6,001	39.9

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 6,194百万円 28年3月期 6,001百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	0.00	-	23.00	23.00
29年3月期	-	0.00	-	-	-
29年3月期 (予想)	-	-	-	23.00	23.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成29年3月期の業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,200	5.8	1,536	3.0	1,536	5.2	1,028	△20.3	91.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	11,280,000株	28年3月期	11,280,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	2,540株	28年3月期	2,476株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	11,277,492株	28年3月期2Q	11,277,524株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続きが実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、個人消費や企業の生産活動等、一部で持ち直しの動きを見せたものの、設備投資は企業収益の悪化を受けて回復ペースが鈍化する等、足踏み状態が続きました。そのような情勢を踏まえて、平成29年4月に予定されていた消費税率の引き上げが、平成31年10月に延期されることとなりました。また為替水準は、英国のEU離脱決定や、米国の利上げ観測の低下を背景として、前年同期と比較すると1ドル15円程度の円高水準で推移することとなりました。

医療を取り巻く環境につきましては、平成28年4月に診療報酬が改定されました。これに伴い、当社の取扱商品に係る保険償還価格が、一般的に引き下げられることとなりました。また、消費税率の引き上げが延期されたことを受け、医療費や年金等の社会保障費の財源を確保することが検討されることとなりました。

このような情勢のもと、当社では、販売代理店としては営業エリアの拡大を進めるとともに、輸入総代理店としては独自商品の販売拡大と新商材の獲得に努めることで、業容の拡大を目指してまいりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は17,132,325千円（前年同期比16.1%増）となりました。営業利益は、業容拡大に伴って人件費や販売費が増加したものの、増収効果や円高による輸入商品の利益率改善によって706,713千円（前年同期比19.4%増）、経常利益は664,522千円（前年同期比13.2%増）となりました。四半期純利益は、前年同期に投資有価証券売却益が476,843千円特別利益に計上されていた影響で、前年同期比34.6%減の459,828千円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 不整脈事業

既存顧客に対するサービスの充実に努めるとともに、前事業年度に引き続き西日本エリアを中心として新規顧客の開拓にも注力いたしました。その結果、CRT-D（両室ペーシング機能付き植込み型除細動器）やアブレーション（心筋焼灼術）カテーテル類、検査用電極カテーテル等の主力商品の販売数量が増加したことから、当第2四半期累計期間の売上高は14,317,208千円（前年同期比17.4%増）、セグメント利益は1,797,446千円（前年同期比5.5%増）となりました。

② 虚血事業

輸入総代理店として取り扱っているエキシマレーザ血管形成システムの販売が好調に推移するとともに、円高の影響によりこれら輸入商品の利益率が改善しました。その結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,371,552千円（前年同期比6.5%増）、セグメント利益は740,738千円（前年同期比18.2%増）となりました。

③ その他

脳外科関連商品等が好調に推移したことから、当第2四半期累計期間の売上高は443,563千円（前年同期比33.3%増）、セグメント利益は53,823千円（前年同期比22.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ663,207千円増加し、14,806,205千円となりました。これは主に、業績が好調に推移したことにより、現金及び預金が360,496千円、受取手形及び売掛金が134,026千円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ6,020千円増加し、889,302千円となりました。これは主に、差入保証金が38,558千円増加する一方、減価償却により有形固定資産が21,969千円減少したことによるものであります。

これらの結果、当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べ669,228千円増加し、15,695,508千円となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ483,393千円増加し、9,199,678千円となりました。これは主に、仕入高の増加に伴って買掛金が489,605千円増加したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ6,739千円減少し、301,407千円となりました。これは主に、長期借入金が25,387千円減少したことによるものであります。

これらの結果、当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比べ476,654千円増加し、9,501,086千円となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ192,573千円増加し、6,194,421千円となりました。これは主に、剰余金の配当により259,383千円減少したものの、四半期純利益により459,828千円増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は39.5%（前事業年度末は39.9%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による資金の獲得723,759千円、投資活動による資金の支出△44,175千円、財務活動による資金の支出△292,868千円等により、前事業年度末と比較して360,496千円増加して5,038,307千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税引前四半期純利益663,633千円に加え、仕入債務の増加489,605千円、売上値引引当金の増加110,671千円等の増加要因があった一方、法人税等の支払△417,463千円、売上債権の増加△134,026千円等の減少要因があったことから、723,759千円の資金の獲得（前年同期は632,626千円の獲得）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資有価証券の売却による収入が37,106千円ありましたが、差入保証金の差入により△39,313千円、有形固定資産の取得により△33,741千円の支出があったことから、△44,175千円の資金の支出（前年同期は426,527千円の獲得）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

配当金の支払△258,241千円及び長期借入金の返済△34,556千円等があったことから、△292,868千円の資金の支出（前年同期は△205,045千円の支出）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の業績予想につきましては、平成28年5月13日公表の「平成28年3月期 決算短信」における業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ66千円増加しております。

（3）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,677,810	5,038,307
受取手形及び売掛金	8,313,594	8,447,620
商品	842,816	946,361
繰延税金資産	123,000	166,000
その他	186,775	208,915
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	14,142,997	14,806,205
固定資産		
有形固定資産	391,461	369,492
無形固定資産	96,742	89,395
投資その他の資産		
投資有価証券	113,003	101,759
差入保証金	181,479	220,037
繰延税金資産	85,700	94,700
その他	14,896	13,917
投資その他の資産合計	395,078	430,414
固定資産合計	883,282	889,302
資産合計	15,026,279	15,695,508
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,741,807	8,231,413
1年内返済予定の長期借入金	64,959	55,790
未払法人税等	441,000	280,000
賞与引当金	163,042	219,703
売上値引引当金	-	110,671
その他	305,475	302,100
流動負債合計	8,716,284	9,199,678
固定負債		
長期借入金	40,951	15,564
退職給付引当金	176,496	191,428
役員退職慰労引当金	82,602	86,302
その他	8,097	8,113
固定負債合計	308,147	301,407
負債合計	9,024,432	9,501,086
純資産の部		
株主資本		
資本金	344,457	344,457
資本剰余金	314,730	314,730
利益剰余金	5,348,378	5,548,824
自己株式	△547	△618
株主資本合計	6,007,019	6,207,394
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,171	△12,972
評価・換算差額等合計	△5,171	△12,972
純資産合計	6,001,847	6,194,421
負債純資産合計	15,026,279	15,695,508

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	14,753,373	17,132,325
売上原価	12,378,745	14,540,316
売上総利益	2,374,628	2,592,009
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	625,899	661,190
賞与引当金繰入額	204,242	219,703
役員退職慰労引当金繰入額	3,770	3,700
退職給付費用	20,871	17,916
その他	927,843	982,785
販売費及び一般管理費合計	1,782,627	1,885,295
営業利益	592,001	706,713
営業外収益		
受取利息	196	2,480
その他	3,216	1,039
営業外収益合計	3,413	3,520
営業外費用		
支払利息	330	193
為替差損	5,075	28,591
デリバティブ評価損	3,069	16,926
営業外費用合計	8,475	45,711
経常利益	586,939	664,522
特別利益		
投資有価証券売却益	476,843	-
特別利益合計	476,843	-
特別損失		
固定資産除却損	45	889
事務所移転費用	23,290	-
特別損失合計	23,336	889
税引前四半期純利益	1,040,446	663,633
法人税、住民税及び事業税	358,979	252,361
法人税等調整額	△21,517	△48,557
法人税等合計	337,462	203,804
四半期純利益	702,984	459,828

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,040,446	663,633
減価償却費	52,769	64,982
のれん償却額	1,397	-
デリバティブ評価損益(△は益)	3,069	16,926
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,521	56,661
退職給付引当金の増減額(△は減少)	678	14,931
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	470	3,700
売上値引引当金の増減額(△は減少)	27,953	110,671
受取利息及び受取配当金	△275	△2,491
支払利息	330	193
為替差損益(△は益)	11,783	26,219
投資有価証券売却損益(△は益)	△476,843	-
固定資産除却損	45	889
売上債権の増減額(△は増加)	△68,760	△134,026
たな卸資産の増減額(△は増加)	△67,043	△104,938
仕入債務の増減額(△は減少)	390,719	489,605
未払消費税等の増減額(△は減少)	△55,760	△12,238
その他	△4,879	△54,084
小計	865,623	1,140,635
利息及び配当金の受取額	275	769
利息の支払額	△325	△180
法人税等の支払額	△232,947	△417,463
営業活動によるキャッシュ・フロー	632,626	723,759
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△77,111	△33,741
無形固定資産の取得による支出	△17,402	△8,965
投資有価証券の売却による収入	559,647	37,106
差入保証金の差入による支出	△38,943	△39,313
差入保証金の回収による収入	351	755
その他	△14	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	426,527	△44,175
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	30,000	-
長期借入金の返済による支出	△32,890	△34,556
自己株式の取得による支出	-	△71
配当金の支払額	△202,026	△258,241
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△129	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△205,045	△292,868
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,783	△26,219
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	842,324	360,496
現金及び現金同等物の期首残高	3,292,872	4,677,810
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,135,196	5,038,307

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。